



《 小野連携型小中一貫校便りNo.4 R 3 / 1 1 / 1 5 》

ま な び や

小野の学舎



文責 藤岡市立小野小学校 校長 村田仁志 (22-2546)
藤岡市立小野中学校 校長 大倉 猛 (24-0104)

学校運営協議会評価部会・連携推進部会を開催しました。

10月8日（金）に小野中学校で評価部会を、10月15日（金）に小野小学校で連携推進部会を、それぞれ開催しました。緊急事態宣言の発令に伴い、当初は書面での開催を計画していましたが、緊急事態宣言が解除されたことにより、急遽計画を見直し、開催することができました。また、広報部会は「小野の学舎」及び「おのハンモックだより」が発行できていることから開催せず、評価部会と連携推進部会のどちらかに広報部会の委員さんにもご出席いただき、感染症に配慮して実施しました。

部会では、それぞれの委員からたくさんの意見が出る中で、地域の皆様が小野一貫校生のことをとても温かい眼差しで見守ってくださっていることが伝わりました。地域の皆様のご理解、ご協力をいただき、充実した小中一貫校としての学校運営ができていますことを心より感謝申し上げます。いつも、ありがとうございます。両部会で出された意見の概要を紹介します。

< 評価部会 > 熟議して「学校評価」の分析と考察を行いました。

読書習慣づくりについて

藤岡市では、今年度より「ノーメディアデー」に代わり「家読」の取組を始めており、小中学生が読書に親しむために、非常によい取組だと考える。もっと保護者や地域にアピールして、環境づくりを進めていきたい。また、電子図書の普及に伴いタブレット等を使い、電子図書に触れてみる経験も必要ではないか等の意見が出されました。

あいさつや感謝の大切さの指導について

学校内ではよくあいさつできるが、地域でのあいさつにはそれぞれの子供によって差があるようだ。地域の大人が率先してあいさつすることで、子供たちにあいさつのよさを伝えていきたい等の意見が出されました。

いじめの撲滅に対する組織的な取組について

子供からはなかなか言い出せない。日頃から子供の様子をよく見て、対策を講ずることが大切だ。また、昨今SNSがいじめの温床になっている。そこにも十分目を配り、SOSの出し方を教えていくことが大切ではないか等の意見が出されました。

< 連携推進部会 > 「育成アクションプラン」の改訂について熟議しました。

来年度「夢に向かってかがやく子」育成アクションプランは、3年に一度の改訂を行います。改定に向けて、学校運営協議会委員から出された意見をいくつかを紹介します。

- ・内容については、非常によい。「アクションプラン」を保護者や地域に一層周知し、（PTAが集まった時や「小野の学舎」等を通じて）、活用していくことで、地域での子供の育成の推進が図れる。
- ・地域や保護者の取組について、全体像を焦点化し、より取り組みやすいよう意見を出し合うことが大切である。
- ・小野一貫校に協力してくださる方を中心に、それぞれの組織を活性化しながら、アクションプランの定着を図ることが大切である。



< 寄付のお礼 >

小野地区区長会様から、小野小・中学校それぞれにご寄付をいただきました。子どもたちのために有効に活用いたします。大変ありがとうございました。



おのハンモックだより

NO.4

地域学校協働本部/地域コーディネーター R3.11.15発行



学校ボランティアが少しずつ再開する中、10月半ば6年生の図工(版画)の授業にボランティアの方に入っていました。

版画は普段使い慣れていない道具などがあり、子どもたちの進み具合もそれぞれでしたがボランティアの方にサポートしていただきながら作品を一生懸命仕上げていました。(記事:〇〇〇〇)

図工ボランティアの〇〇さん



コロナ禍でもできた！ \(\^o^\)/ 令和3年版チャレンジWEEK!

～10の皆さんに贈る詞(ことば)～「自分の強みを、地域社会で活かす」と題してご講演をいただきました代。〇〇さんは山口大学で土木工学を学び、その後カナダレジャイナ大学大学院で博士号を取得しました。その後結婚を機に2015年に藤岡市へ移住してからは”有機栽培の米作り”や”国際交流プロジェクト”、また”小野地区の農業委員”など…いろいろな顔をもって活躍する、まさにスーパーウーマンです。

ここにたどり着くまでの生い立ちや今後のビジョンなどを聞かせてくれ、生徒の皆さんに心強いメッセージ(贈る詞)を届けてくれたのではないのでしょうか。「さまざまな分野、様々な国・地域で経験を積み」という通り、何が自分の進む道なのかは経験をしてこそ分かることなのです。(記事:〇〇〇〇)



農業女将・藤岡リジャイナ
かけはしプロジェクト代表の
〇〇〇〇さん



シンガーソングライター・ピアノ
書道・リトミック講師の〇〇さん



小野中出身の〇〇さんは小野地区で書道ピアノ教室を営み指導すると共に幼稚園にてリトミックを教えたり、シンガーソングライターとして各地開催イベントに出演したりとマルチに活躍しています。幼少期よりピアノを習い、歌手になりたいと音大に進学したと話す〇〇さんが現在の職業に至るまでの道のりについて話してくれました。とにかくやってきたことは1つだけ。「ずっとやめなかった」ということ。3才からピアノ、小3から書道をこれまで一度もやめることなく続けてきたということでした。一つのことを続けるってシンプルだけど難しく、でもとても大切なことだと思います。

【〇〇さんから中学生へ】

「もともと目指していたことが職業になるとは限らないけれど、大人になったとき、経験がいつか何かに繋がることがきっとある。無駄な事なんてひとつもない。」と、メッセージを贈ってくださいました。最後に今の仕事について「やりがいがない！」と笑顔で語ってくださいました。藤岡まち映画の主題歌「明日への空」と、

小野小イメージソング「心に咲く花」を歌ってくださいました。

(記事:〇〇〇〇)



〇〇さん・〇〇さん
〇〇さん・〇〇さん
〇〇さん
ありがとう
ございました(*'▽')

